

コウノトリの歴史①(野生絶滅～野生復帰開始) (○・・・コウノトリに関すること ◆・・・渡良瀬遊水地に関すること)

2007	2005	1999	1990	1988	1971	1965	1963 ～97	1956	1950 ～60代	1939 ～45	1910 ～22	明治 時代	江戸 時代	年代
(参考：兵庫県立コウノトリの郷公園HP ・IPPM-OWS HP)														
<b>主な出来事</b>														
○全国各地にコウノトリが生息していたとの記録あり														
○乱獲され個体数が減少														
◆渡良瀬川改修工事 (渡良瀬川の流れをかえて、遊水地にする工事)														
○第2次世界大戦中、コウノトリの営巣に適した松の高木が伐採され、営巣場所が減少														
○強力な農薬の使用や環境改変により、えさ生物及びこれらを食べるコウノトリが負の影響を受け、野外個体数が激減														
○コウノトリが国の特別天然記念物に指定 (この年、コウノトリは20羽に減少)														
◆渡良瀬遊水地の調節池化工事 (この間に第1、第2、第3の3つの調節池が造られる)														
○兵庫県でコウノトリ一つがいを捕獲し、人工飼育が始まる														
○野生最後の1羽が兵庫県豊岡市内で保護されたが死亡 日本国内の野生コウノトリが絶滅														
○東京都多摩動物公園が国内で初めてコウノトリの繁殖に成功														
◆渡良瀬貯水池(谷中湖)供用開始														
○兵庫県立コウノトリの郷公園が開園														
○兵庫県がコウノトリ5羽を野外に放鳥 (再導入・野生復帰の開始)														
○兵庫県豊岡市内の人工巣塔で放鳥後初めての野外繁殖確認														



(写真提供：利根川上流河川事務所)

# コウノトリの歴史② (渡良瀬遊水地へのコウノトリの飛来)

(○・●・・・コウノトリに関すること ◆・・・渡良瀬遊水地に関すること)

年月	主な出来事
2012年7月	◆ 渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録
2014年6月	◆ 第一回渡良瀬遊水地ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦(外来植物除去活動)開催 ◆ 国土交通省の掘削により環境学習フィールド3完成 ● 渡良瀬遊水地上空を7羽のコウノトリが約15分間旋回(栃木県では27年ぶりの飛来)
2015年5月	● コウノトリ「ポンスニ(J0051・♀)」(歌の叔母)が小山市内の田んぼに飛来 ◆ 小山市内1基目のコウノトリ人工巣塔を設置(生井ゆりかご幼稚園南) ○ 千葉県野田市がコウノトリの放鳥を開始 ○ 福井県がコウノトリの放鳥を開始
2016年3月	○ コウノトリ「きずな(J0127・♂)」・「ひかる(J0128・♂)」が千葉県野田市「こうのとりの里」で誕生 ● 「きずな」が渡良瀬遊水地へ初飛来
2017年3月	○ 徳島県鳴門市で野外コウノトリのヒナが誕生(兵庫県豊岡盆地周辺以外で初) ○ 野外的コウノトリが100羽に達する ◆ 第一回おさかなワイワイ大作戦開催 ● 「ひかる」が渡良瀬遊水地へ初飛来
2018年1月	◆ 小山市地域おこし協力隊第一号として伴瀬恭子隊員が着任 ● 「ひかる」が渡良瀬遊水地に再飛来し、以後定着 ● 渡良瀬遊水地内に初めて人工巣塔を設置(小山市内5基目)設置の翌日から「ひかる」が巣作り開始 ○ コウノトリ「歌(J0181・♀)」が徳島県鳴門市の電柱巣で誕生 ◆ 国土交通省の掘削により人為攪乱型実験地完成 ● 「ひかる」の定着半年を記念し、特別住民票交付・「コウノトリ写真展」開催



(写真提供:利根川上流河川事務所)




(撮影:内田 孝男 氏)



# コウノトリの歴史③ (渡良瀬遊水地でのコウノトリの繁殖)

(○・●・・・コウノトリに関すること ◆・・・渡良瀬遊水地に関すること)

年月	主な出来事
2019 7	<p>◆ラムサール条約湿地登録7周年記念「柳生博さん・さかなクンと未来へつなげよう小山市の宝渡良瀬遊水地」(柳生名誉会長が1年後の「ひかる」のヒナ誕生を予言)</p> <p>●コウノトリ「ひかる」・「歌」・「カズ(J0237・♂)」・「レイ(J0238・♀)」が4羽同時に<small>小山市下生井の「なつみずたんぼ」に飛来</small></p> <p>◆生井桜づつみ公園ヨシ灯り初開催</p> <p>◆令和元年東日本台風で渡良瀬遊水地が過去最大となる約1.6億<sup>3</sup>mを貯留</p>  
2020 3	<p>●「歌」が渡良瀬遊水地に再飛来し、以後定着</p> <p>●コウノトリ「歌」への特別住民票交付</p> <p>●渡良瀬遊水地で「ひかる」・「歌」ペアが誕生!</p> <p>④2羽の抱卵を推定</p> <p>⑤ヒナ誕生(親鳥のえさの吐き出し行動から推定) <b>(兵庫県での野生復帰開始以降、東日本初!)</b></p> <p>⑥ヒナ2羽の姿を初めて確認</p> 
2021 2	<p>◆渡良瀬遊水地コウノトリ交流館オープン!</p> <p>○野外のコウノトリが200羽に達する</p> <p>●コウノトリ命名式(ヒナの愛称が「わたる」・「ゆう」に決定)</p> <p>●「ゆう(J0328・♀)」巣立ち</p> <p>●「わたる(J0329・♂)」巣立ち</p> <p>●「歌」左脚を負傷、その後10月に死亡確認</p> <p>◆地域おこし協力隊伴瀬隊員が任期満了に伴い卒業</p> <p>●渡良瀬遊水地で「ひかる」・「レイ」ペアが誕生!</p> <p>②産卵を推定</p> <p>③ヒナ誕生(親鳥のえさの吐き出し行動から推定)</p> <p>④ヒナ3羽の姿を映像で確認 (内1羽はその後親鳥の間引きにより死亡)</p> <p>●コウノトリ命名式(ヒナの愛称が「りょう」・「のぞみ」に決定)</p> <p>●「りょう(J0341・♂)」・「のぞみ(J0342・♀)」巣立ち <b>(渡良瀬遊水地での野外繁殖が2年連続で成功)</b></p>   